

# にんしんSOS愛知

## 実践報告会

2021.2.16~2022.3.31

1. 目的
2. 概要
3. 実績
4. 内容
5. まとめ

公益財団法人 愛知県助産師会



1. 目的

2. 概要

3. 実績

4. 内容

5. まとめ

# 目的

予期せぬ妊娠をした女性や家族  
特に若年妊婦に寄り添い  
その選択を尊重し  
適切な支援を提供する

1. 目的
2. 概要
3. 実績
4. 内容
5. まとめ

# 事業内容

1. 相談
2. 面会
3. 同行支援
4. 短期居場所提供
5. 啓発活動(性教育)

# 相談

曜日	日・火・木・土曜日	祝日・年末年始も実施
時間	18時～21時	夜間 学業・仕事を考慮
方法	電話・メール	同行支援時はLINEを使用
相談員	2名(リモート)	助産師8名・社会福祉士1名
周知	ホームページ	その他 チラシ・カード・SNS

# 面会・同行支援・短期居場所提供

## 面会

対面による相談  
引き続き関連機関に同行もあり

## 同行支援

保健・医療・社会福祉機関へ同行支援

## 短期居場所提供

支援機関へつながるまでの一時的な提供  
提携助産院など

# 運営費

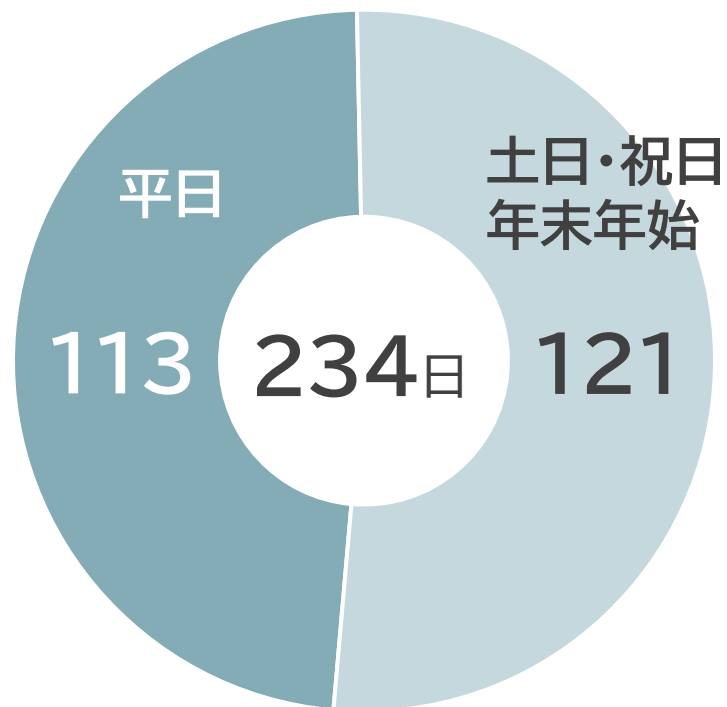
日本財団助成  
80%

愛知県  
助産師会  
20%

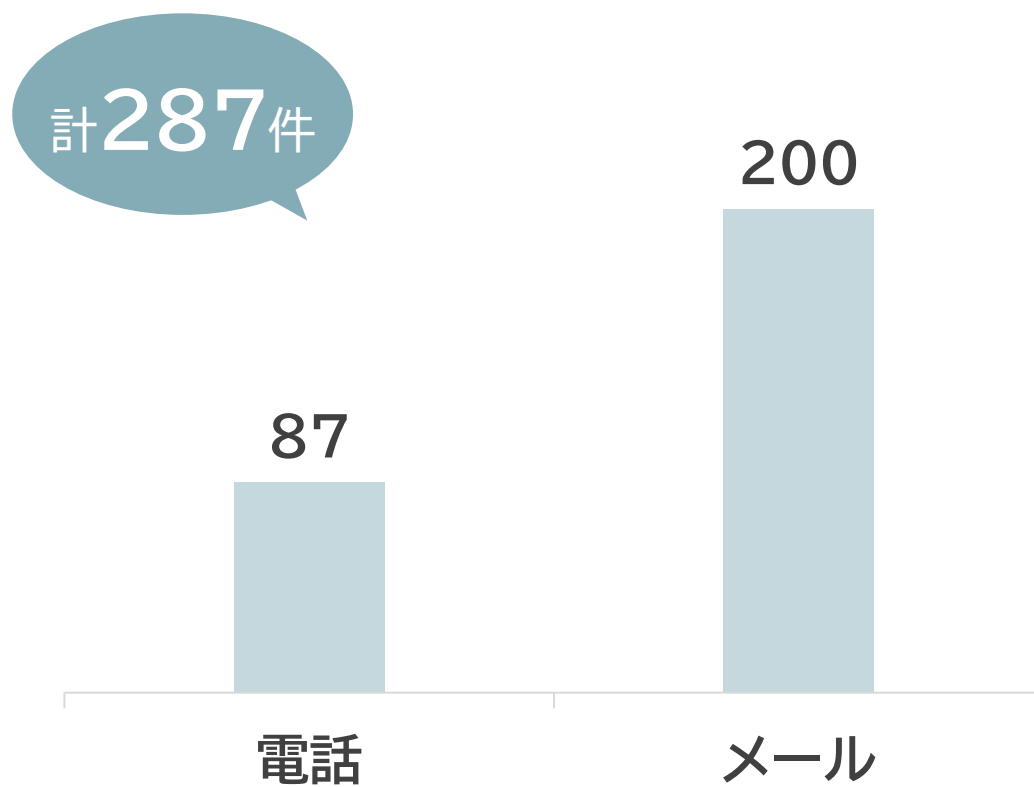


1. 目的
2. 概要
3. 実績
4. 内容
5. まとめ

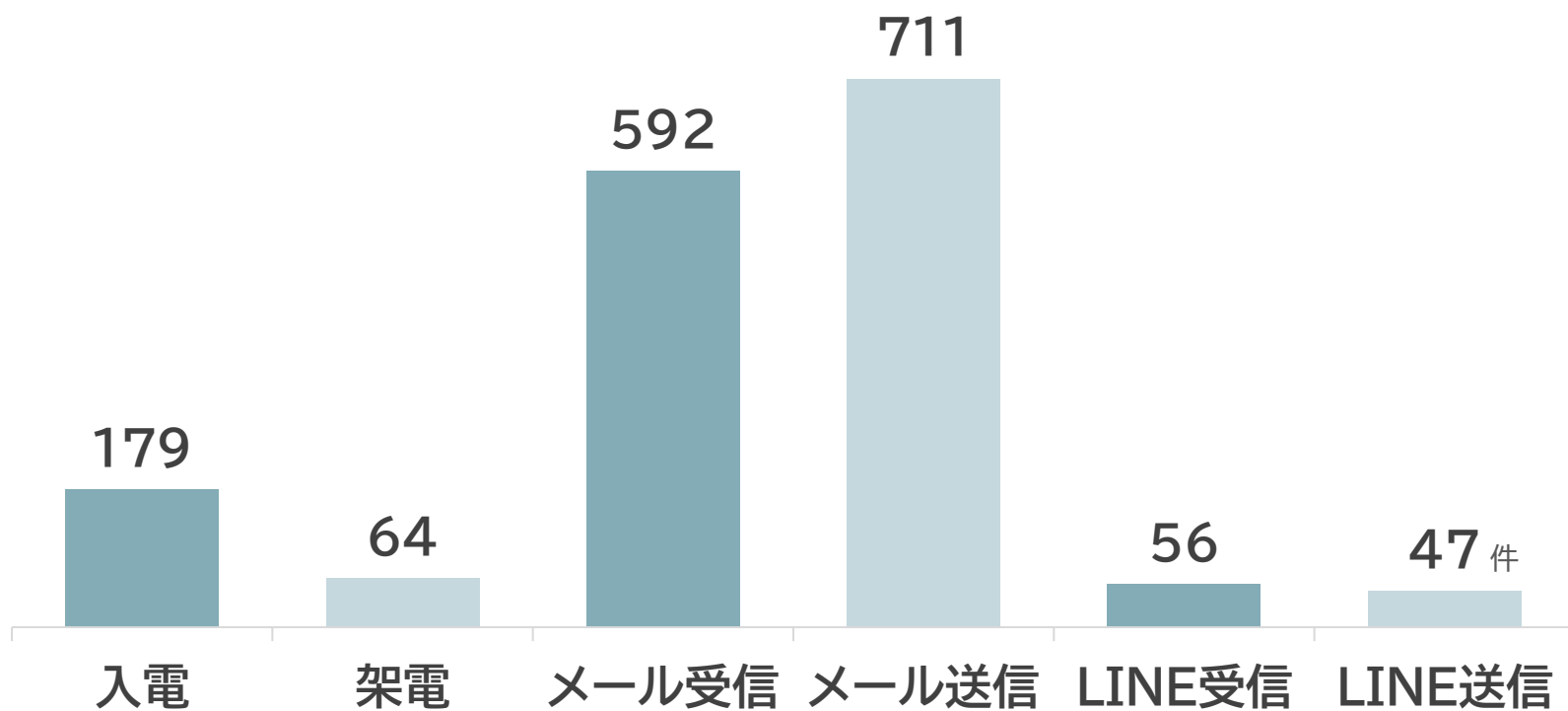
# 相談日数



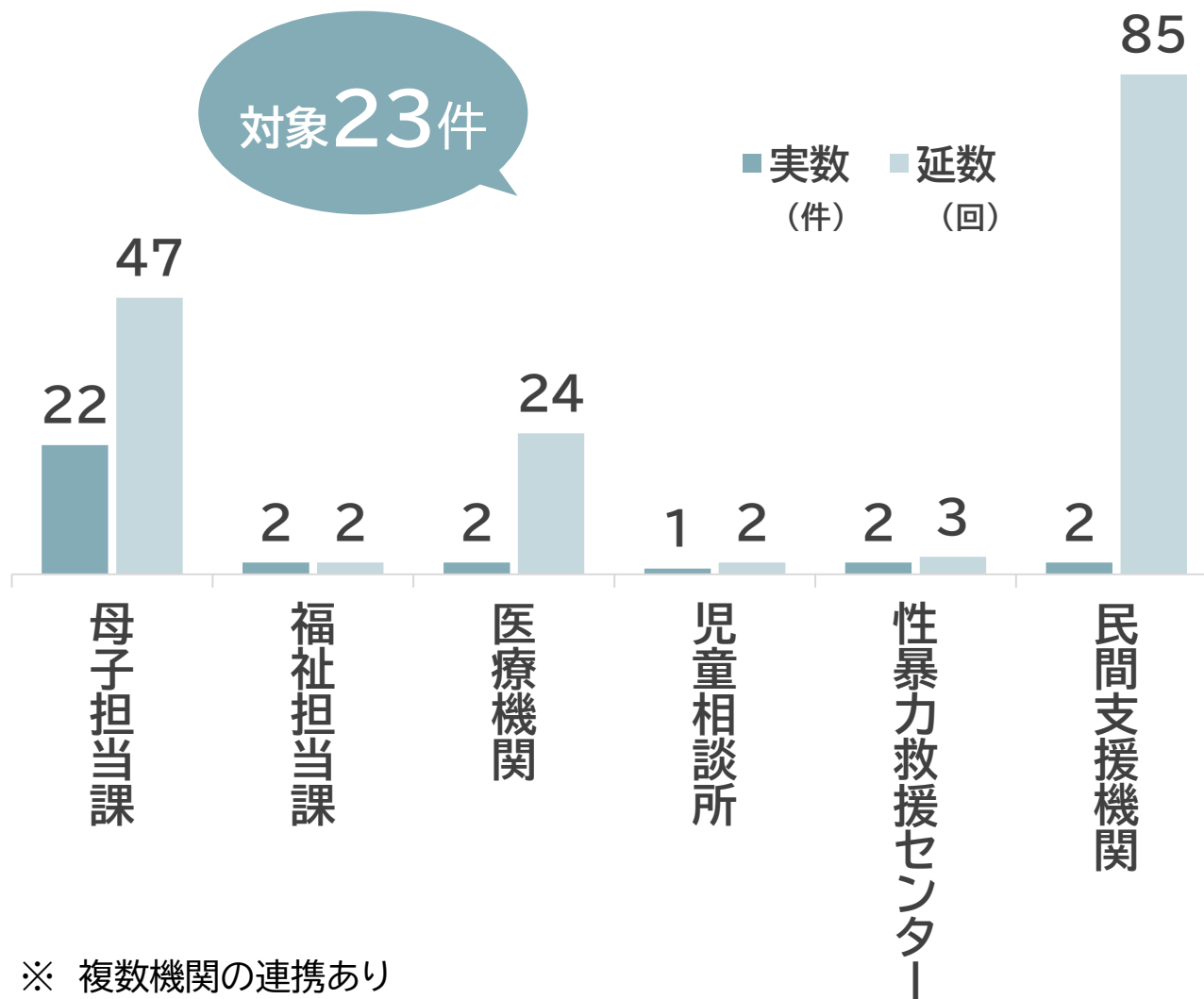
# 相談実数



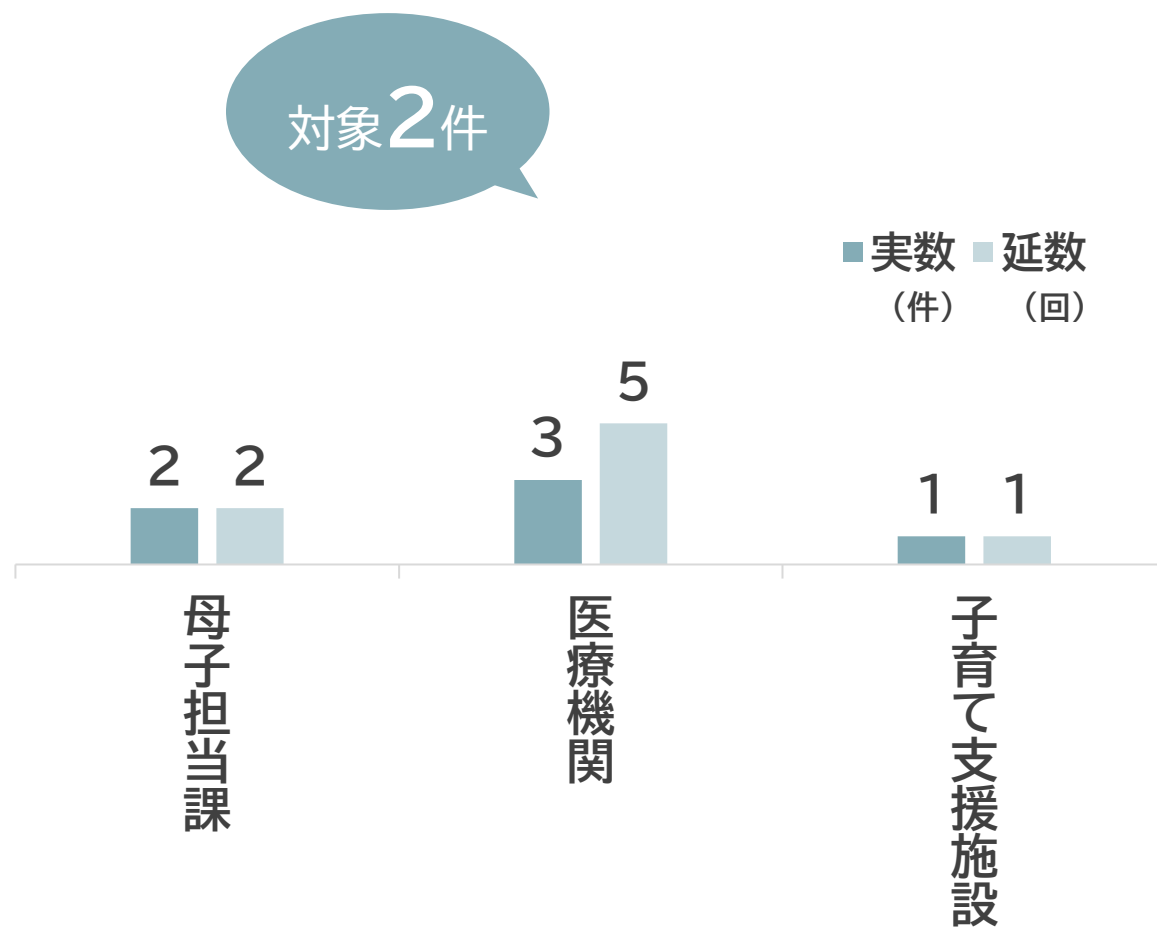
# 対応延数



# 他機関連携



# 同行支援



※ 複数機関の同行あり

# 性教育

	学校数	参加人数
<b>総数</b>	<b>11校</b>	<b>1327人</b>
中学校	3	929
定時制高校	3	185
特別支援学校 (高校・高等部)	3	81
高等専修学校	1	57
専門学校	1	75

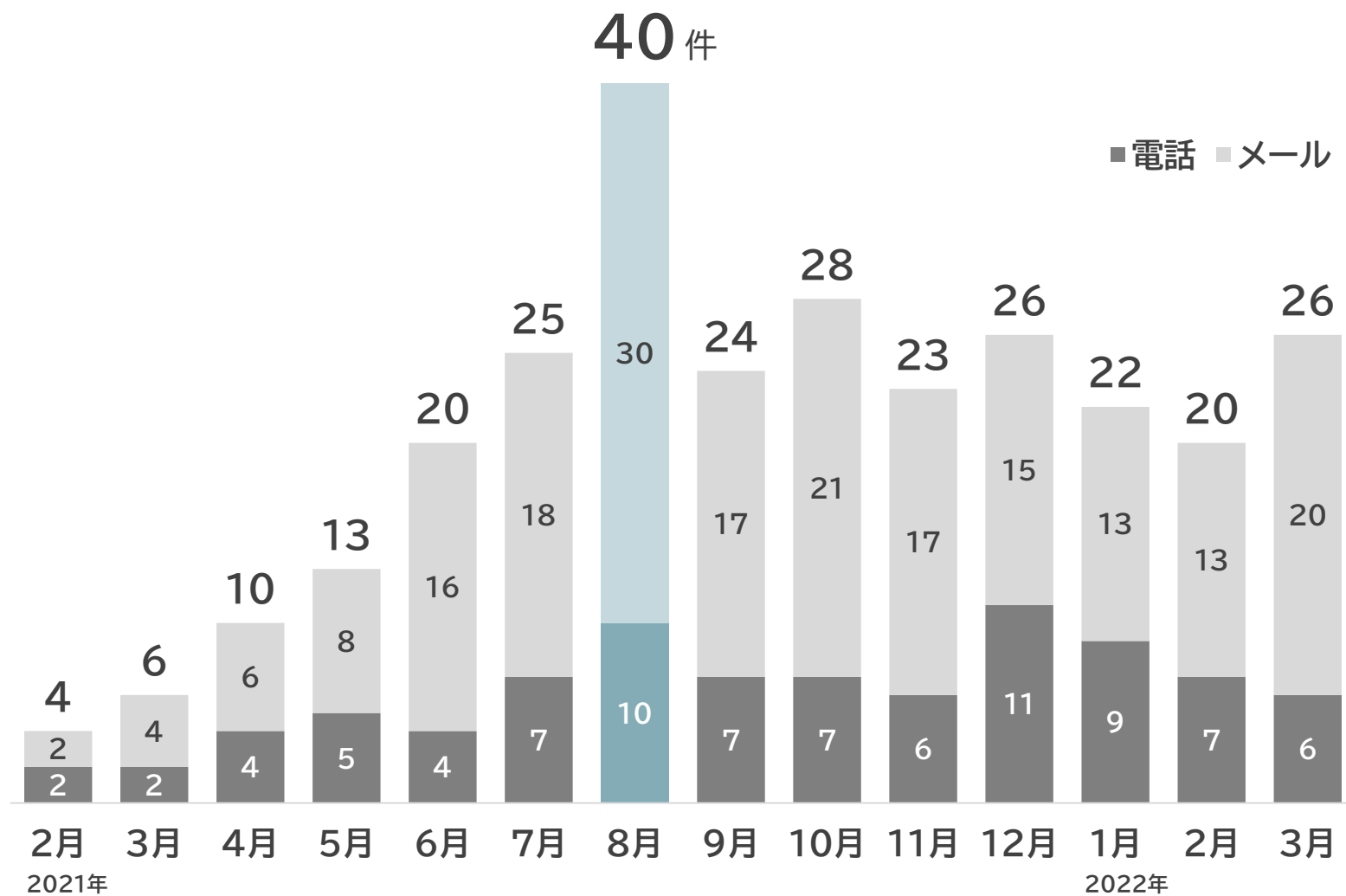
# 研修・連携会議・学術活動

研修	全国妊娠SOSネットワーク 「妊娠SOS相談対応パッケージ研修」基礎編	1回
	事前課題研修	3回
	コンサルティング事例検討会	11回
連携会議	性暴力救援センター 日赤なごや なごみ	2回
学術活動	日本子ども虐待防止学会学術集会 第27回かながわ大会	1回

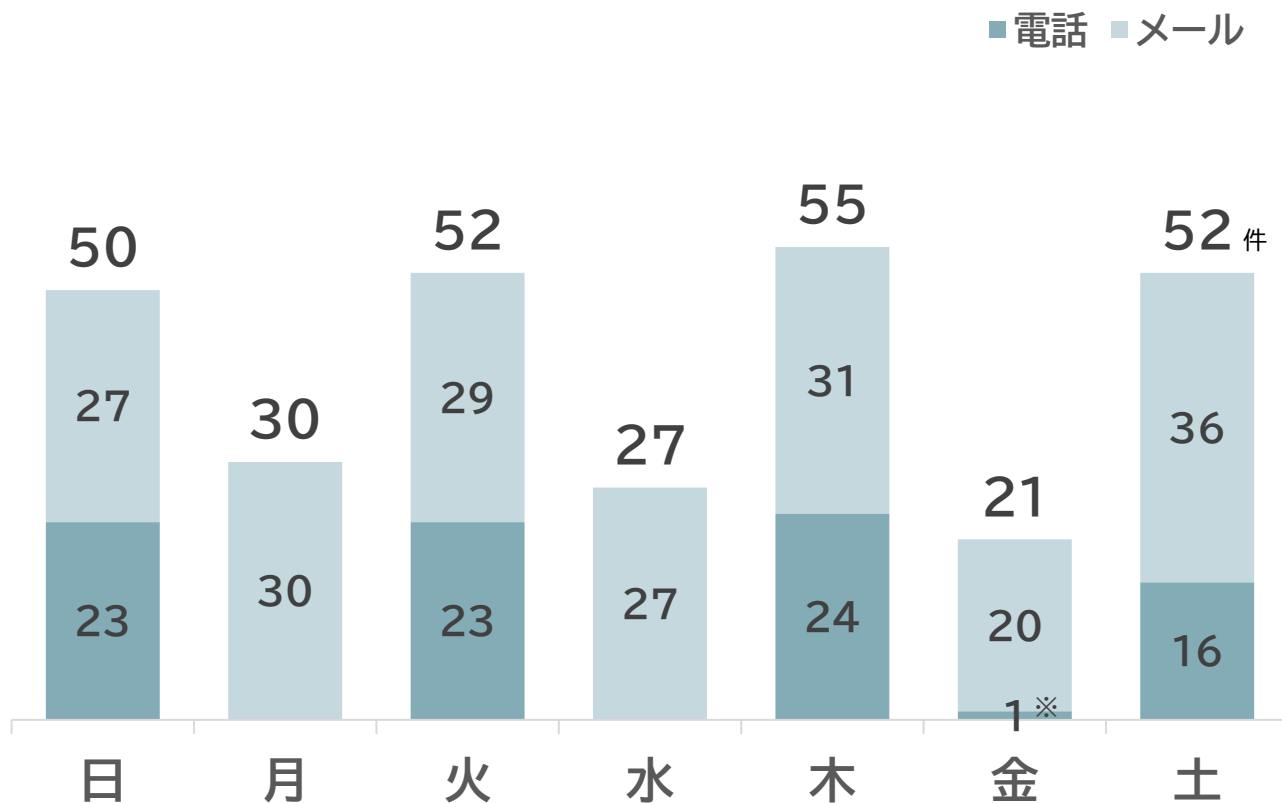


1. 目的
2. 概要
3. 実績
4. 内容
5. まとめ

# 月別相談実数

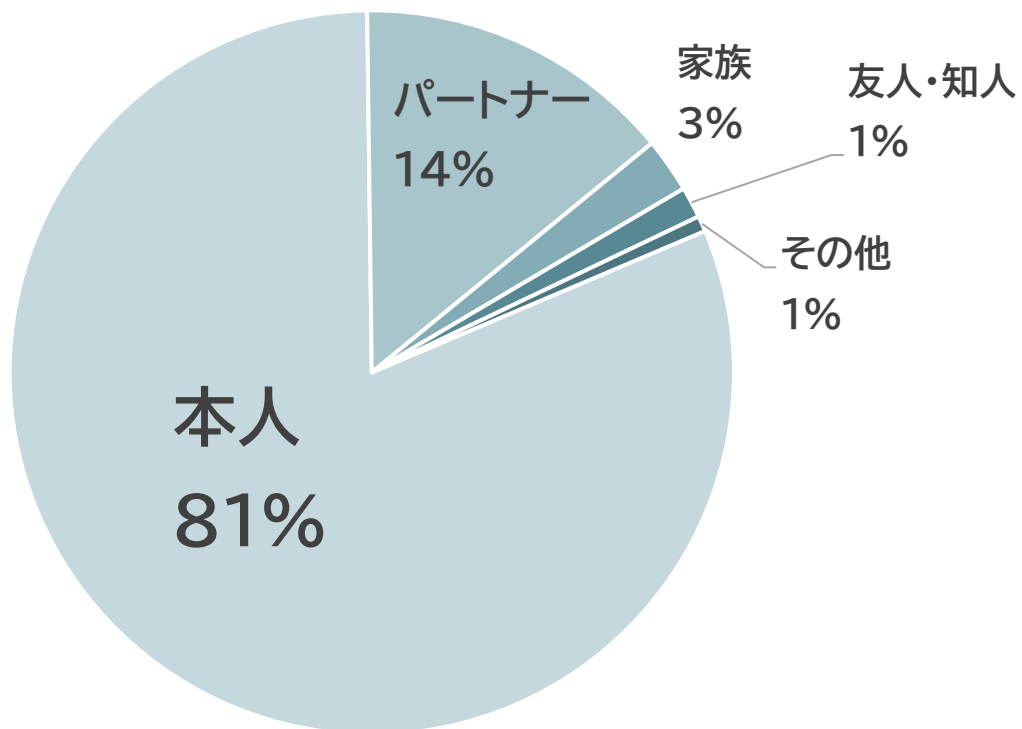


# 曜日別相談実数

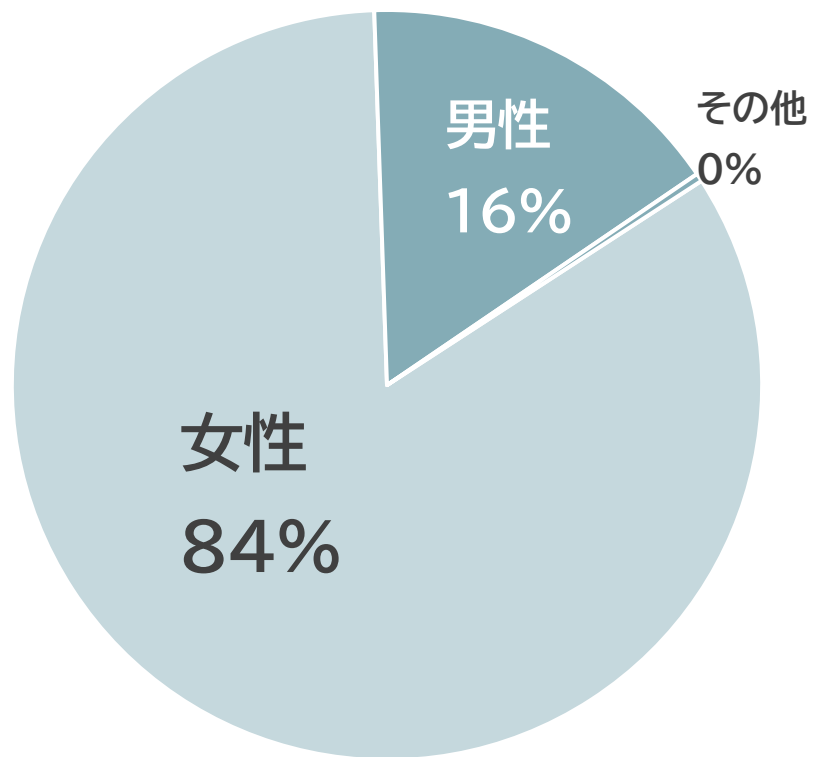


※ 他機関からの緊急紹介

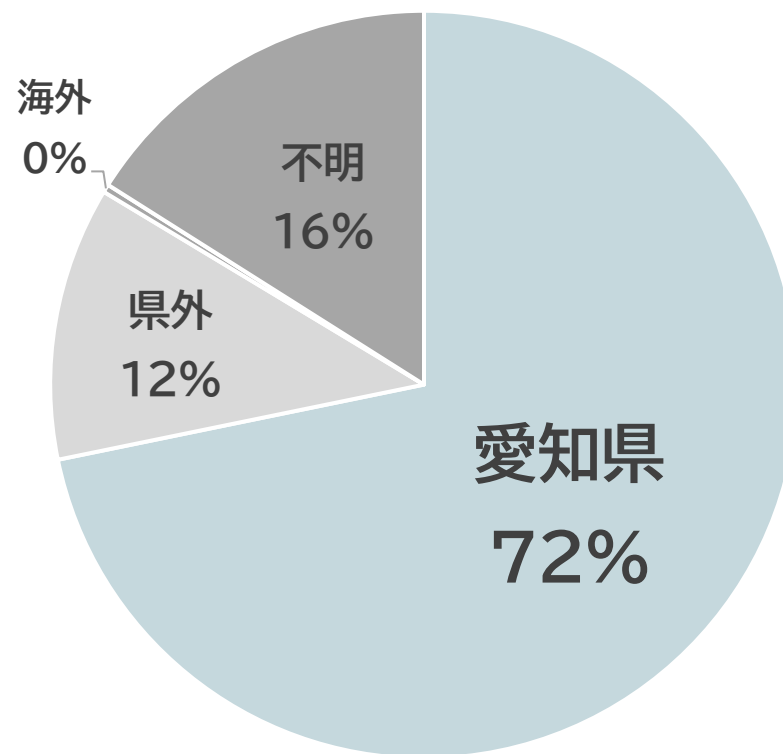
# 相談者



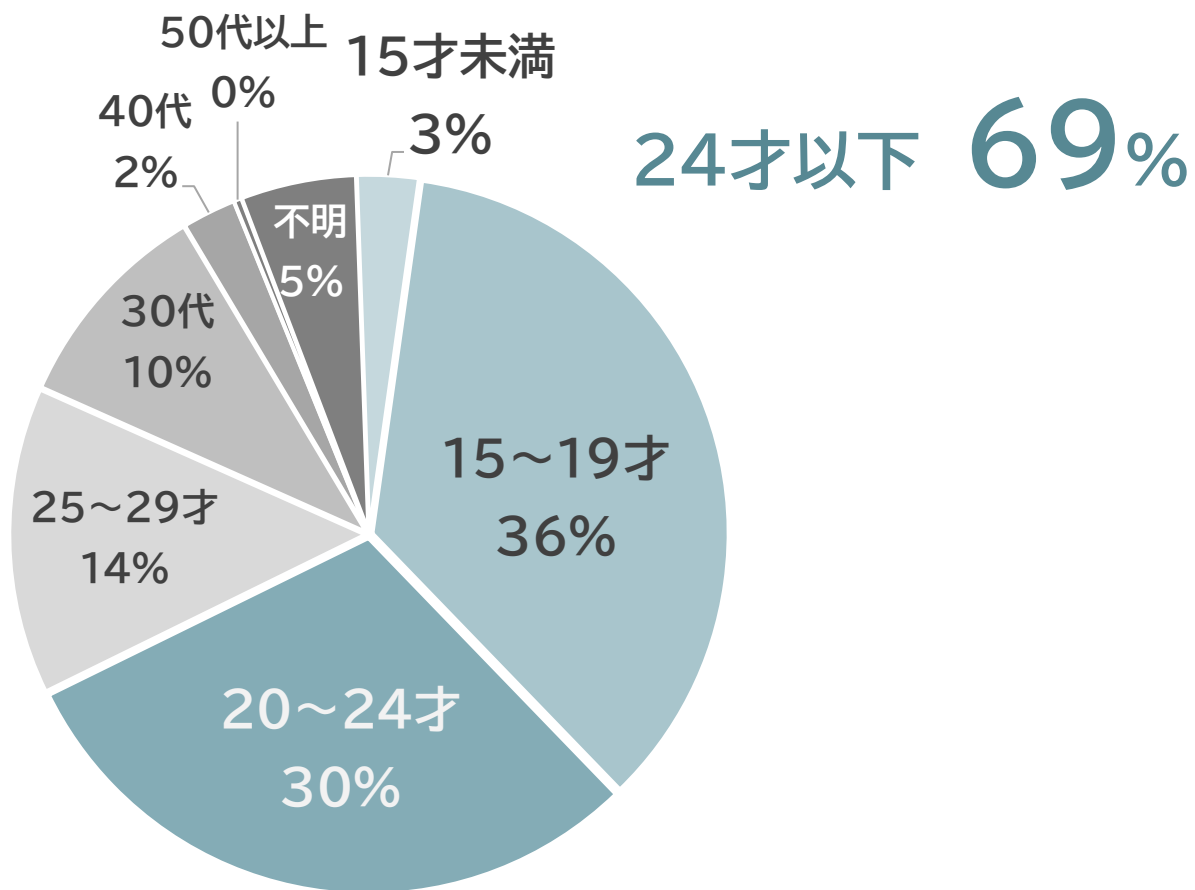
# 相談者 性別



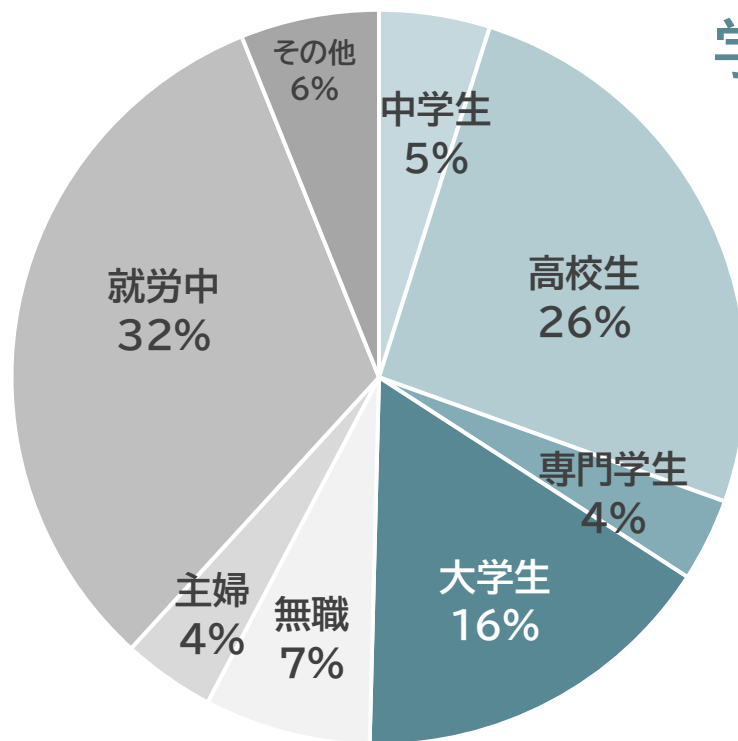
# 相談者 住所地



# 対象者 年齢



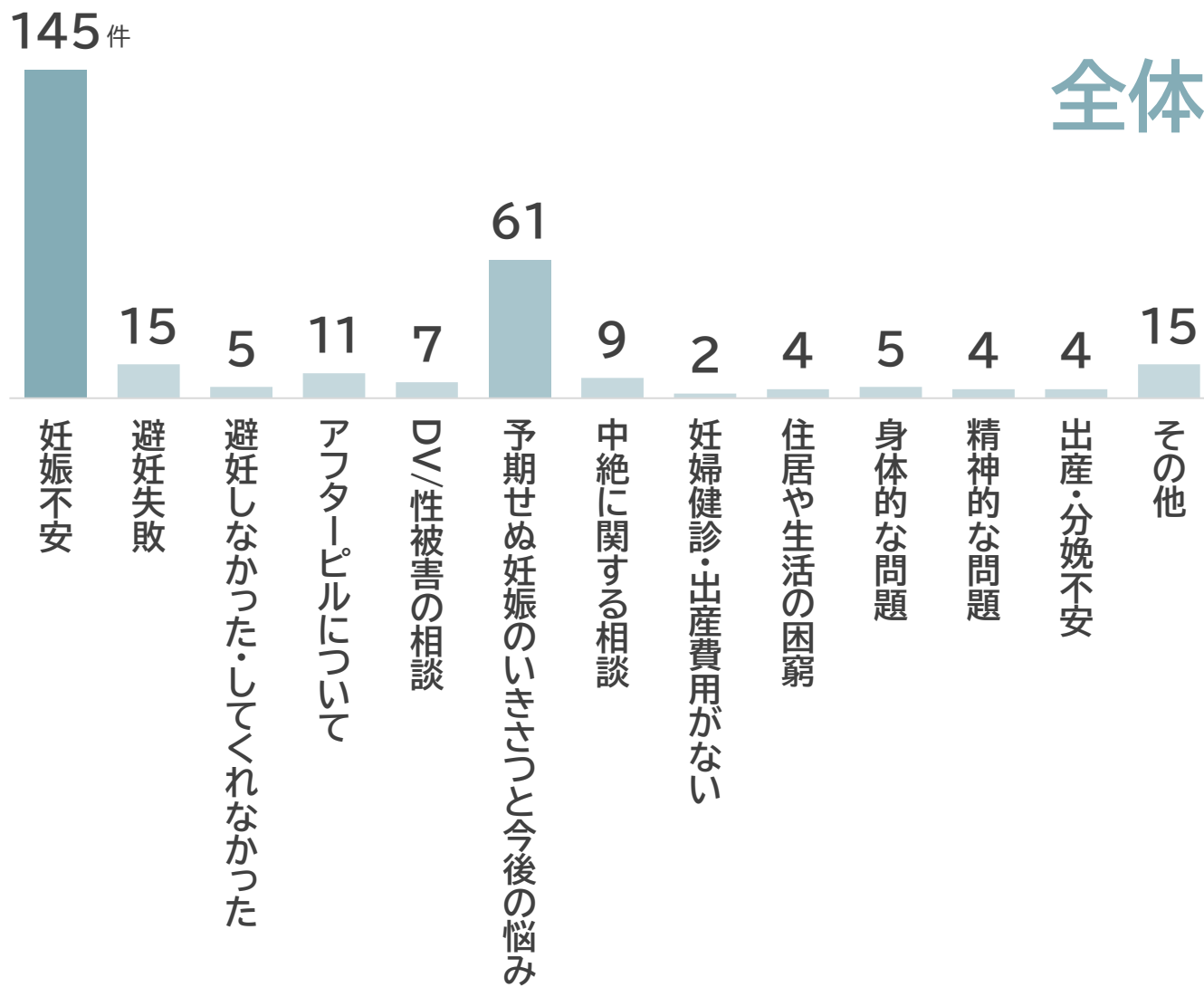
# 対象者 社会的背景



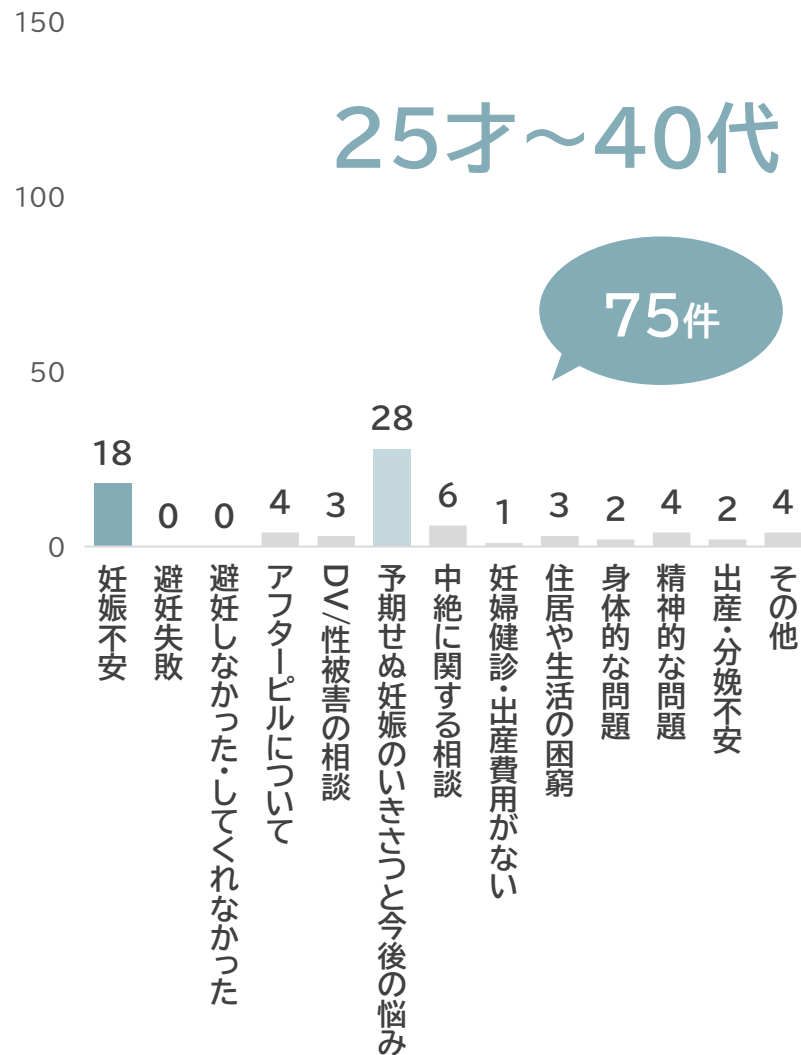
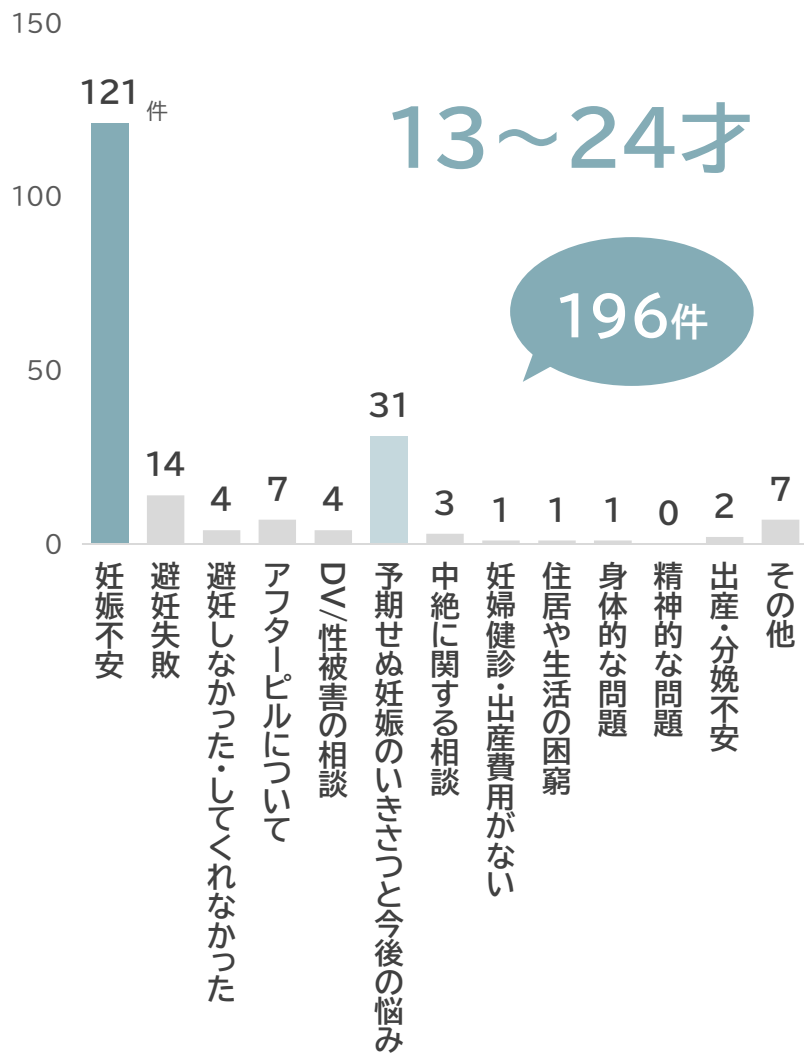
学生 51%



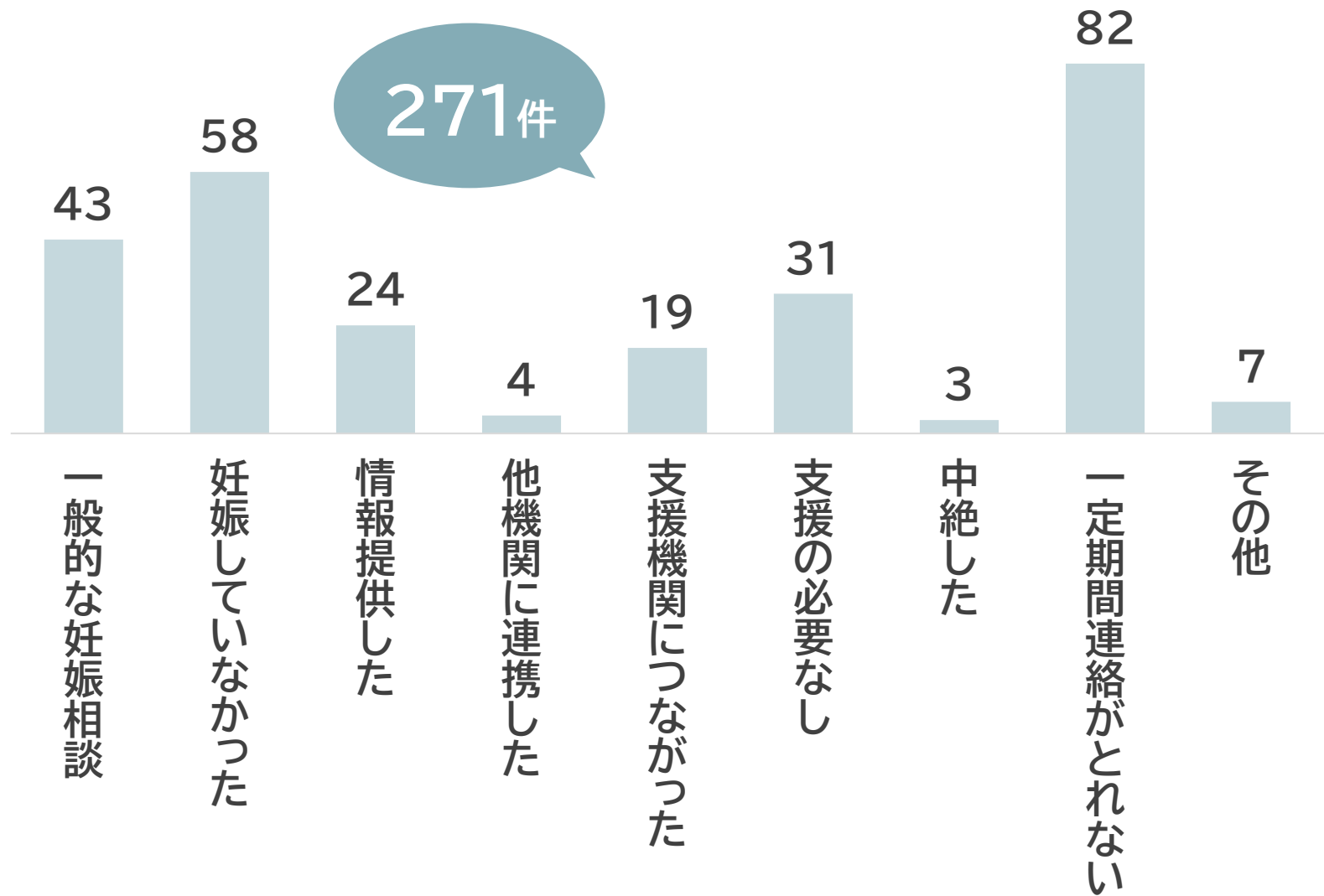
# 主な相談事項



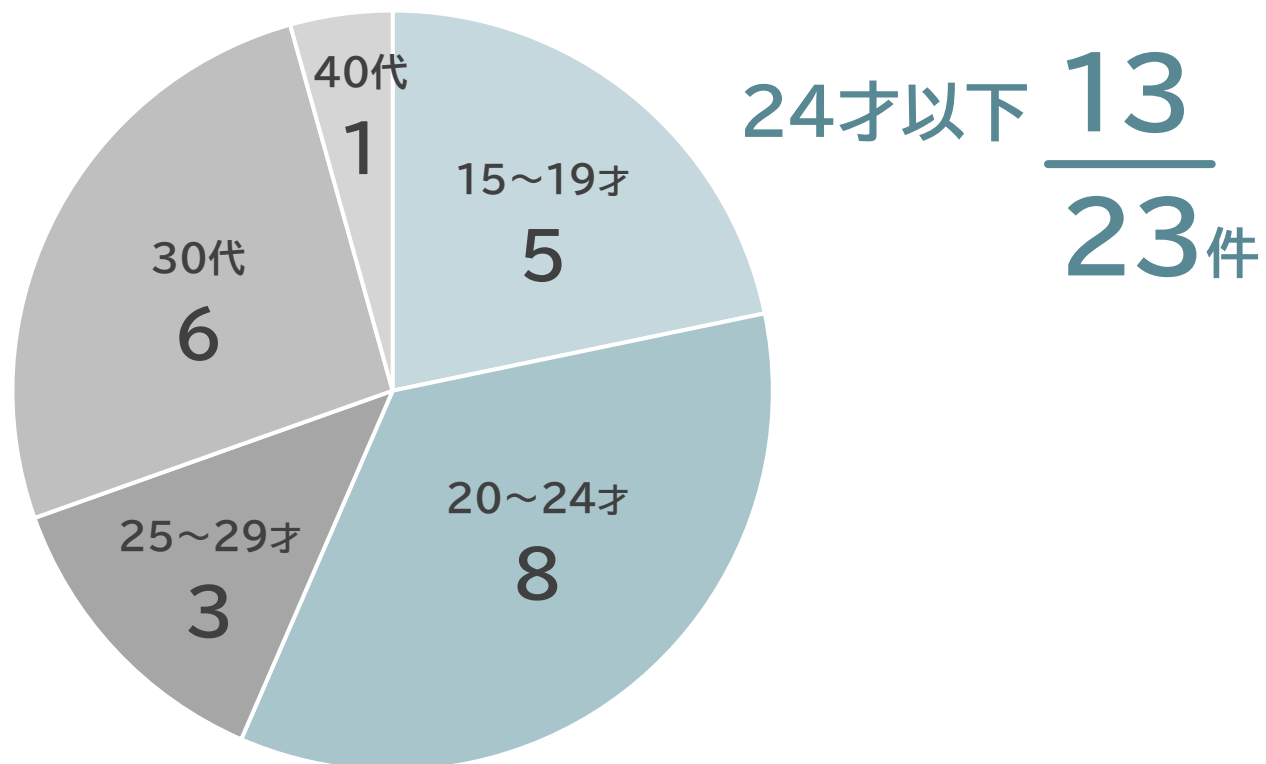
# 主な相談事項(年代別)



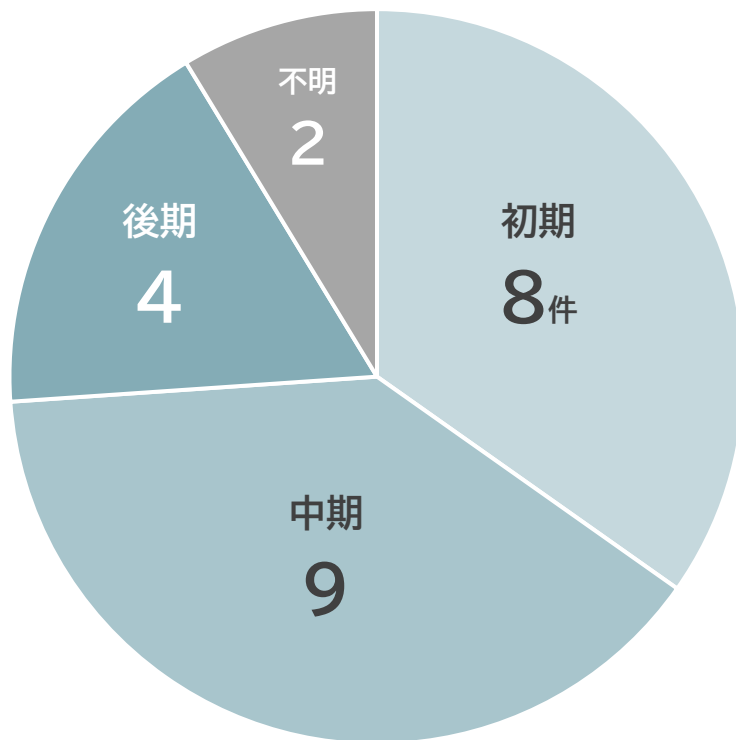
# 終了判断理由



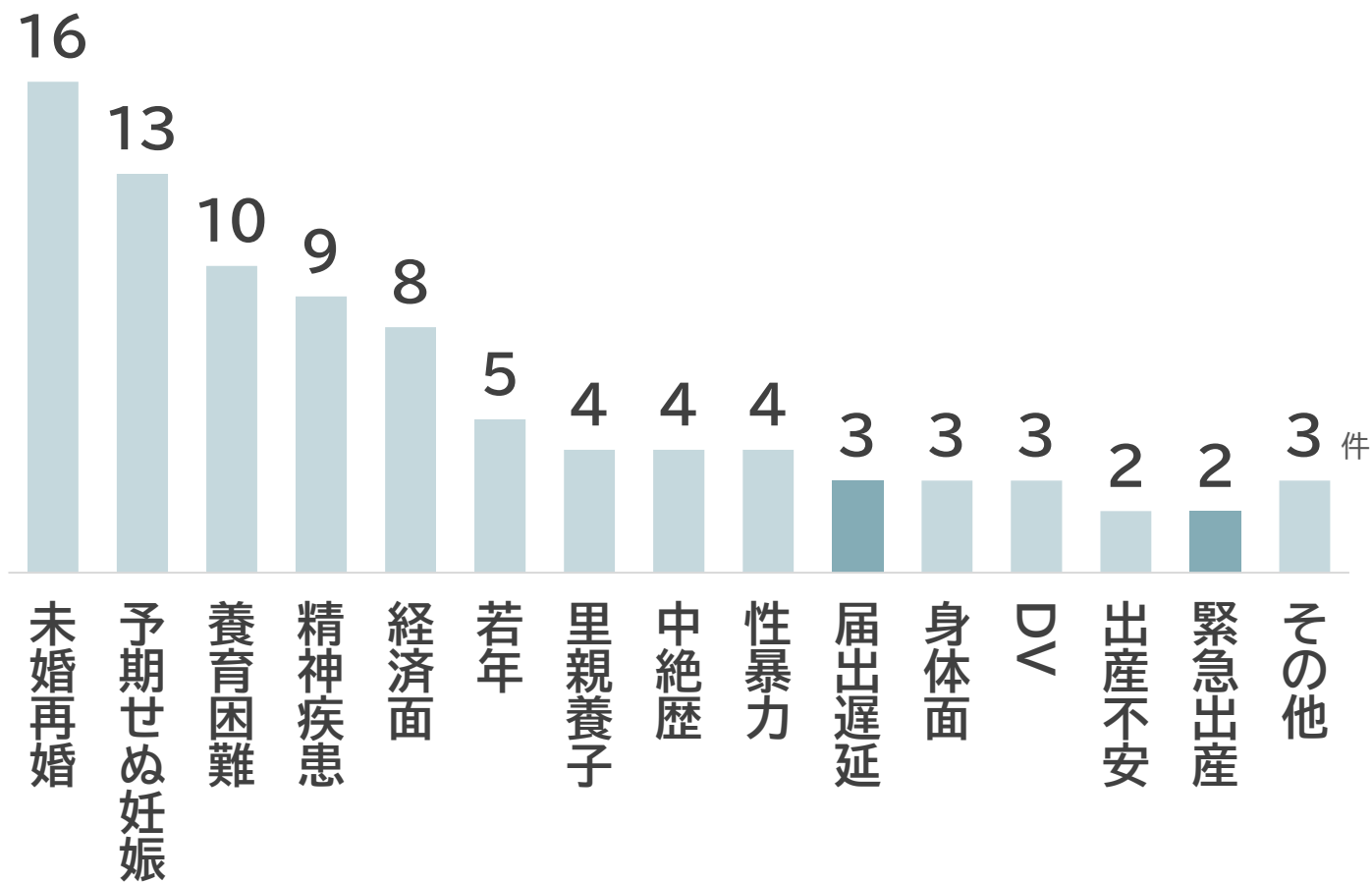
# 他機関連携 年代別



# 他機関連携 初回相談時の妊娠期



# 他機関連携 連絡項目



※ 複数項目の連絡あり

1. 目的
2. 概要
3. 実績
4. 内容
5. まとめ

# 1年間のデータから見える特徴と課題

## 1. 毎日メール相談あり

- 相談日を毎日にすることで  
緊急避妊・性暴力被害の相談に  
手遅れにならず対応できる

## 2. 相談者の7割以上は愛知県

他県相談機関へ相談し紹介されたケースあり

- 対象者・医療機関へPR・広報により周知を図る



# 1年間のデータから見える特徴と課題

3. 相談者の6割が24歳以下・約半数が学生・8月が最多  
主な相談内容は、妊娠不安・緊急避妊に関する相談

- 全ての子どもや若者に  
性教育を提供する必要性を強く感じる

4. 他機関連携したケースに  
複数の課題をかかえた相談者が多い

- 母子担当課・医療機関等との連携・協働を強化

# 事業運営の課題・展望

1. 「にんしんSOS愛知」の継続
2. 相談員の更なるスキルアップ
3. 事業継続・拡大には、マンパワーの確保と  
県の受託による運営費の確保
4. 教育機関からの全ての性教育ニーズに  
対応できる体制および予算確保